

研究課題名：	体格指標を基準にした CT 造影検査による造影効果の適正化 ～簡便かつ合理的な投与方法の検討～
研究機関名 所属（診療科等）：	さいたま赤十字病院 放射線科部
研究責任者及び職名：	一般撮影・救急部門 係長 寺澤 和晶
研究期間：	年 月 日 ～ 2019 年 8 月 31 日
研究の目的と意義：	造影 CT 検査において、検査薬である造影剤は体重を指標に投与量を調整することが一般的である。この体重指標は、生体の循環血液量は体重に相関があるとして用いている。しかし、体重の増加は体重を指標とした場合、一次関数的に増加するため、現在の使用薬剤では不足になることがある（日本人の体重は食の欧米化により、増加してきている）。また、臓器（内臓）体積は体重に比例して増減しないことから、身長・体重を用いた体格を指標に投与量を決定することが妥当と考えられる。実際に生体の循環血液量は、体格に依存するとの報告がある <sup>1)</sup> 。本検討により、造影剤の過剰や過不足を解消することが期待できる。
研究内容：	さいたま赤十字病院において造影 CT 検査（救急 CT）を依頼された外来・入院の患者様を対象とし、研究対象者基本情報として年齢、性別、身長、体重を利用する。 対象患者様より取得した CT 画像情報から大血管を抽出し、造影剤により上昇した血管の CT 値（HU） <sup>2)</sup> を測定する。体重指標群と体格指標群の造影効果から相関を求め比較する。体格指標に関する検討は、介入を伴わない前向き研究（前向き観察研究）。体重指標に関する研究は後ろ向き研究。
個人情報の取り扱い	画像データサーバーから CT 画像を抽出し、個人を特定できる情報（氏名、住所、生年月日）を除外した形で測定する。患者様の測定情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 放射線科部 氏名：寺澤 和晶 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111 （内線 20147）

1) 小川龍ほか：日本人の循環血液量正常値の研究。呼吸と循環，18：833，1970.

2) CT 値（HU）：白黒の濃淡値（画像濃度値）